

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	東大演習林を学ぶ会		
タイトル	第3回例会-----本沢林道～大平歩道～向峯歩道～一杯水林道～麻綿原		
実施日時	平成28年11月23日(水) 10時 ~ 14時30分		
実施場所	鴨川市		
受講者	名	F I C会員他スタッフ	10名

活動の内容

第3回例会は演習林の最南部、二タ間川沿いの本沢林道を入口から北上、更に東側斜面につけられた道を斜上して演習林東端の尾根(向峯)に達し、尾根を北上して一杯水林道へ、そこから麻綿原に達する歩行距離約7kmのコースを歩きました。このコースは演習林の最南部で太平洋から直線距離で2~5kmほどに位置しています。そう云った地理的環境もあって特に南方系の植物やシダ類が豊富に見られるエリアです。

この時期は花は少ないものの、イズノシマダイモンジソウや咲き遅れたキク科の植物などが見られます。また、本沢林道ではシダ類が豊富でクリハラン、ヘラシダ、ミツデウラボシ、オオバイノモトソウ、マツザカシダ、ホウライシダ、ハコネシダ、ホソバカナワラビ、ウラジロ、コシダ、コモチシダ等々が、またスタジイ、モミ、ホルトノキ、カゴノキ、バリバリノキ等の大木が目につきました。

本沢林道を3kmほどの地点から二タ間川を渡渉して大平歩道に取り付きます。スギ人工林内の急登がしばらく続きますが、白い実をつけたモロコシソウやキッコウハグマの小さな花が目を楽しませてくれます。急登から傾斜が緩むと、程なく尾根上の向峯歩道に合流します。1kmほどかなり荒れた歩道を進み一杯水林道に到着、ここからは前回も歩いた道をのんびりと麻綿原まで辿り、今日の観察会を終了しました。

終了後の振り返りで、「別の季節(花の多い時期等)にもう一度歩いてみたい」との声が多く聞かれました。



イズノシマダイモンジソウ



マツザカシダ



サラシナショウマ



モロコシソウ



二タ間川を渡渉して大平歩道へ



向嶺の稜線を北上する